



令和4年12月  
浜松市立赤佐幼稚園

## 預かり保育の様子から

赤佐幼稚園では預かり保育を実施しています。御家庭の事情により必要な方が御利用いただくため、毎日同じ子が一緒に過ごすということはありません。年少組、年中組、年長組の子が同じ空間で過ごしますから、同学年だけではなくいろいろな子との関わりがあるのは、預かり保育ならではの光景です。



長らく一緒に生活を共にしていると、異学年で交流することの良さが姿となって表れます。以下の文は、担任の様子を振り返ったものです。

- ・年少児、年中児、年長児と、学年問わず良い刺激となり「○○ちゃんみたいなのつくりたい」「◇◇くんと△△したい」など異学年で遊ぶ姿が見られた。
- ・(年長組に)憧れを持ち、同じものをつくろうとする姿があった。隣でつくり始めると、横で様子を気にして教えてあげる姿が見られ、良い雰囲気でも遊んでいた。
- ・年長児が、年中児、年少児と一緒にものをつくったり、年少児のやりたい遊びを年長児も一緒にやってあげたりと、優しく接してくれる姿が多く、とてもうれしそうにする年少児、年中児の姿が見られた。
- ・異学年での関わりが多くなり、子供たちが慣れてきた。何か困ったことがあると子供同士で助け合ったり、自分の経験のあるものだと「おれ分かるから教える!」「私、できるよ!」と手助けしたりする姿が見られた。

時には、こんな姿も…。びっくりです。

- ・いつもは手伝ってもらっている年少児が、年長児につくり方を説明したり、「私はこうやってつくった」と伝えたりする姿もあって、年齢に関わらず助け合う姿が見られた。

いろいろな子とのかかわりが広がったり、深まったり…。一緒に過ごすことの意味や価値があることがわかります。赤佐幼稚園では、通常保育の担任と預かり保育の担任とで、子供の良さを共有したり援助方法を合わせたりするなどし、一人一人の育ちを支えています。

裏面へ続く

## 思いやりは、引き継がれる

年長児は体力がついてくるため、10月より午睡の時間がなくなります。年中・年少児が寝ている間は遊んで過ごすのですが、その前にお手伝いをしてくれます。これが教師にとっては大助かり。着替えのサポートに始まり、なかなか寝付かない子に根気よく寄り添ったり、トントンの仕方を変えてみたりしてくれて、本当にありがたい存在です。

年中・年少児は安心して過ごしたり入眠したりでき、年長児に信頼を寄せていきます。自分たちが年長組になった時、ここで受けた優しさや思いやりをまた別の子に返していくことと期待しています。



預かりの生活や午睡を通して見られる子供たちの姿からは、「人と関わる力」（浜松の教育「幼児期に育てたい力」）の育ちが見られます。また、園の教育目標においても重点目標の「かかわろう」（人に進んで関わる子、考えて行動する子）の育ちが見られます。何気ない生活や遊びの中に見られる子供の姿を、これからもていねいに拾うと共に意味や価値を探っていきたいと思います。